

洪水ハザードマップ(広島市作成)の活用について

平成23年 6月

山崎町内会 会長

広島市作成の「洪水ハザードマップ」(戸坂学区)・<別紙参照>は、太田川が洪水のため氾濫か堤防が決壊した場合の浸水深を示したものです。

これを見ますと山崎町は、全てが5m以上(2階屋根が水没)となっていることから、最寄りの避難場所(5m以上)は、戸坂小学校、戸坂集会所となっています。

しかし、山崎町から戸坂小学校へ移動するには小学校裏(BIG側)の避難通路が浸水していることが想定されることから、身の安全確保の観点から、先ず一次避難は5m超え以上の高所へ上がることでの行動をお願いします。

具体的には別紙「洪水ハザードマップ」に書き込んでいますが、桜西町、桜東町、桜上町に向かって避難して下さい。。。<桜が丘児童公園>。。。土石流には要注意！

※小学校の表門側(バス路線)の方は、小学校へ避難して下さい。

桜が丘方面へ避難された方は、先ず身の安全を確保した後、生活避難場所である小学校へは小学校裏門(出江方面)から移動することとします。

※昨年各世帯に配付しました「生活便利帳」の8ページ～生活避難場所での対応等が具体的に記載されていますので確認をお願いします。

☆ 洪水に関しては、堤防決壊、氾濫前に広報車(広島市)による避難勧告等が戸坂学区内周知されますので、町内会(自主防災会)も連動して対応します。

☆ 一人暮らしの方への通報は、自主防災会役員(町内会長、副会長)が対応します。